

「外傷性三叉神経ニューロパチーへの対応を再考する」 —新規保険収載薬デュロキセチン塩酸塩の使用法等—

期日：2024年3月10日（日）10:00～17:00

ZOOMによる講演配信と討論のライブ配信

（オンデマンド視聴可能期間：終了後約2週間を予定）

参加費：7000円（6学会会員）

非会員10000円

申込先：日本口腔顔面痛学会事務局

（担当：臼倉）

jsop_seminar@onebridge.co.jp

申し込みの方には、メールで登録番号をお送りします。

主催：日本口腔顔面痛学会
共催：口腔顔面神経機能学会
日本口腔外科学会
日本歯科麻酔学会
日本歯科薬物療法学会
日本歯科心身学会
（五十音順）

プログラム

Part1(10:00-12:30) 座長：村岡 渡

- ・ 医原性の神経損傷の治癒は、治癒が期待できるか？—外傷性三叉神経ニューロパチー患者の予後の現状—（福田謙一）
- ・ 三叉神経ニューロパチーのブロック療法（坂本英治）
- ・ 舌神経障害の重症度判定を外来で簡便に行える診断法と舌神経修復術の現状（藤田茂之）
- ・ 末梢神経再生術の予後（瀬尾憲司）

質疑応答・討論 コメンテーター：今村佳樹

Part2(13:30-17:00) 座長：福田謙一

- ・ 「神経障害性疼痛」へのデュロキセチン塩酸塩の使用法の勘所（豊福 明）
- ・ 「口腔内科相談外来」での非定型歯痛および口腔灼熱症候群（舌痛症）患者への対応について（安彦善裕）
- ・ 「下歯槽神経、舌神経の麻痺を生じにくい下顎埋伏智歯抜歯法」（堀之内 康文）
- ・ 舌神経はなぜ傷つくか？—その走行の動的な仮説（照光 真）
- ・ なぜ患者は歯科外来で理不尽に怒るのか—コンフリクトマネージメントのすすめ—（佐久間司）

質疑応答・総合討論 コメンテーター：和嶋浩一